

小平町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

小平町は、北海道北西部、留萌振興局管内の南部に位置し、面積627.22km²、人口3,336人(平成27年国調確定値)の農業及び漁業が基幹産業の過疎地域であり、食料品や生活用品の購入、また医療機関の受診、高校への通学や通勤等に至るまで、日常生活のあらゆる面において、隣接する留萌市とのつながりが非常に大きい状況にある。

今後、小平町においては、高齢化率の更なる上昇や本格的な人口減少時代に突入する中、一層の公共交通需要の低迷が予想される一方で、公共交通が不便な地域に居住する自家用車を持たない高齢者等における移動手段の確保は重要な行政課題であることから、通学や通院、また買い物等に対する移動手段を確保し、住民が住み慣れた地域で安心安全に、かつ快適に暮らしていけるよう地域のニーズを踏まえた持続可能な生活交通ネットワークの推進を図るものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・平日1日当り利用人数 70人
- ・平日1日当り運行回数 6往復(往路5便 復路7便)

平成29年度事業概要

- ・小平町デマンドバス達布線(滝下～小平)

【車両減価償却費等国庫補助】

地域公共交通の現況

- ・小平町デマンドバス(町内1路線)
- ・沿岸バス(株)(地域間3路線)
- ・(有)小平ハイヤー
- ・スクールバス(町内4路線)

協議会開催状況

- ・平成28年6月30日 第1回小平町地域公共交通会議「平成29年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について
- ・平成29年1月17日 第2回小平町地域公共交通会議「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)」及び「小平町デマンドバス運行に関するアンケート調査」について
- ・平成29年8月24日 第1回小平町地域公共交通会議「平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について

平成29年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

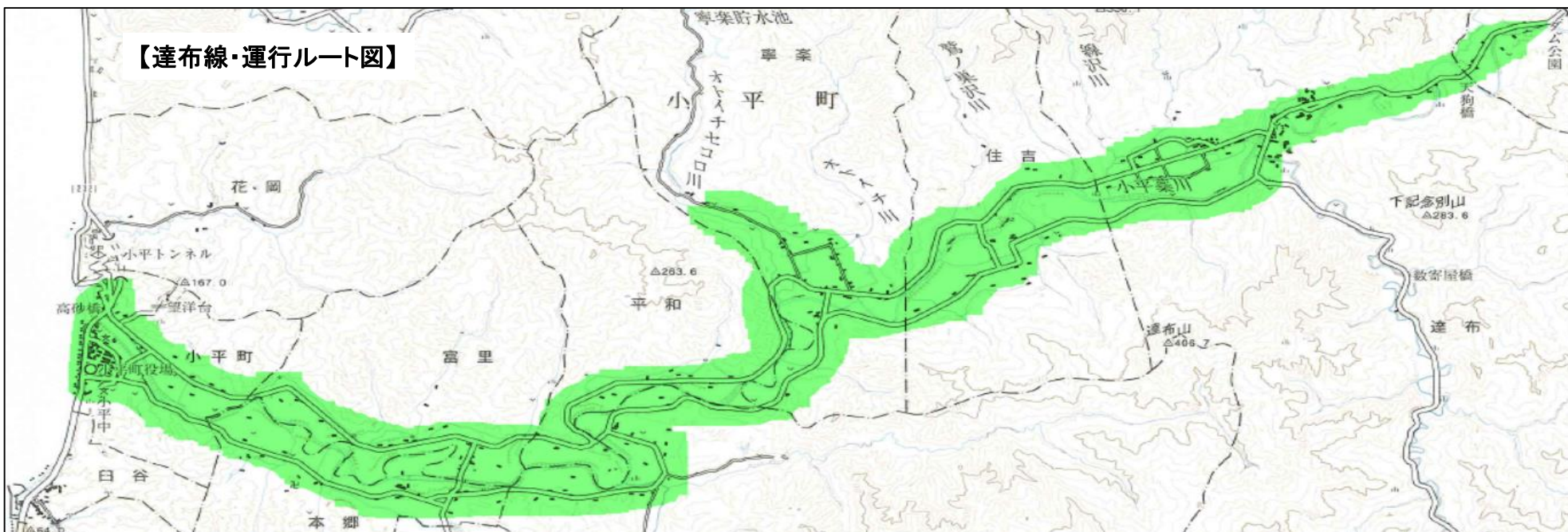
【プロセス】

- ・平成24年度 小平町地域公共交通会議発足、町内公共交通の状況及び住民意識調査、町内地域公共交通の検討
- ・平成25年度 小平町における既存地域公共交通事業の見直しと新しい地域公共交通事業の構築検討、小平町地域公共交通調査事業の事業評価
- ・平成26年度 小平町で導入を予定するデマンドバスの概要説明、小平町生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)策定、デマンドバス住民説明会、デマンドバス運行開始(10月1日)
- ・平成27年度 小平町生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)策定、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価
- ・平成28年度 地域内フィーダー系統確保維持計画策定、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価
- ・平成29年度 地域内フィーダー系統確保維持計画策定、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

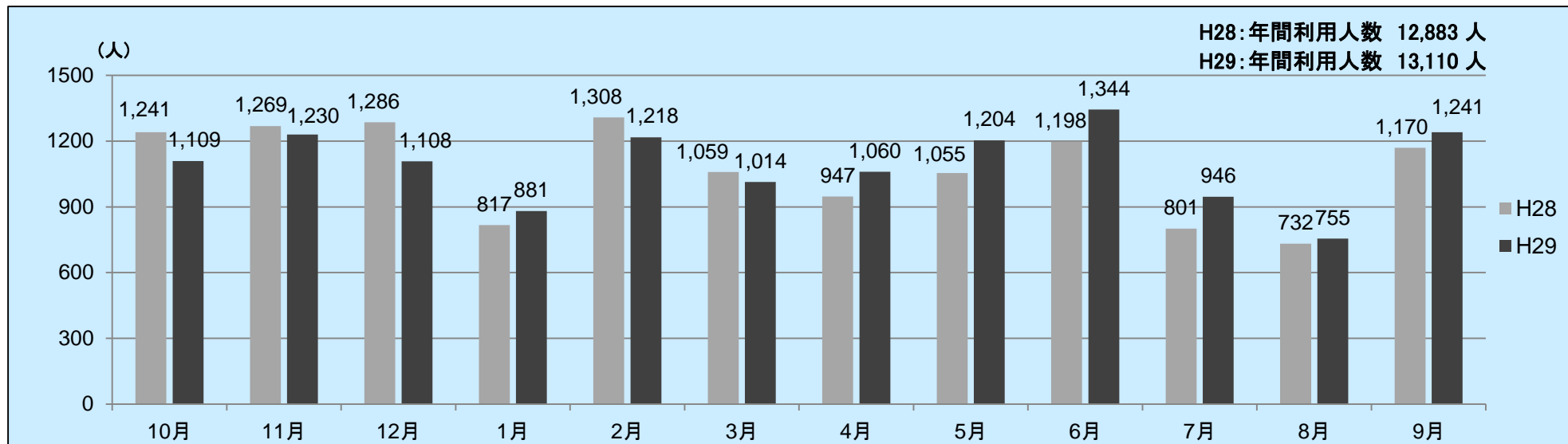
【創意工夫】

- ・達布線をフィーダー系統/デマンド型と位置付け、地域間幹線系統との円滑な接続を行うためのダイヤ調整
- ・デマンドバス利用者及び未利用者に対しアンケート調査を実施(調査期間:平成28年12月8日~22日)
- ・利用者の利便性向上を図るため、新たにデマンドバスの待合所を開設した

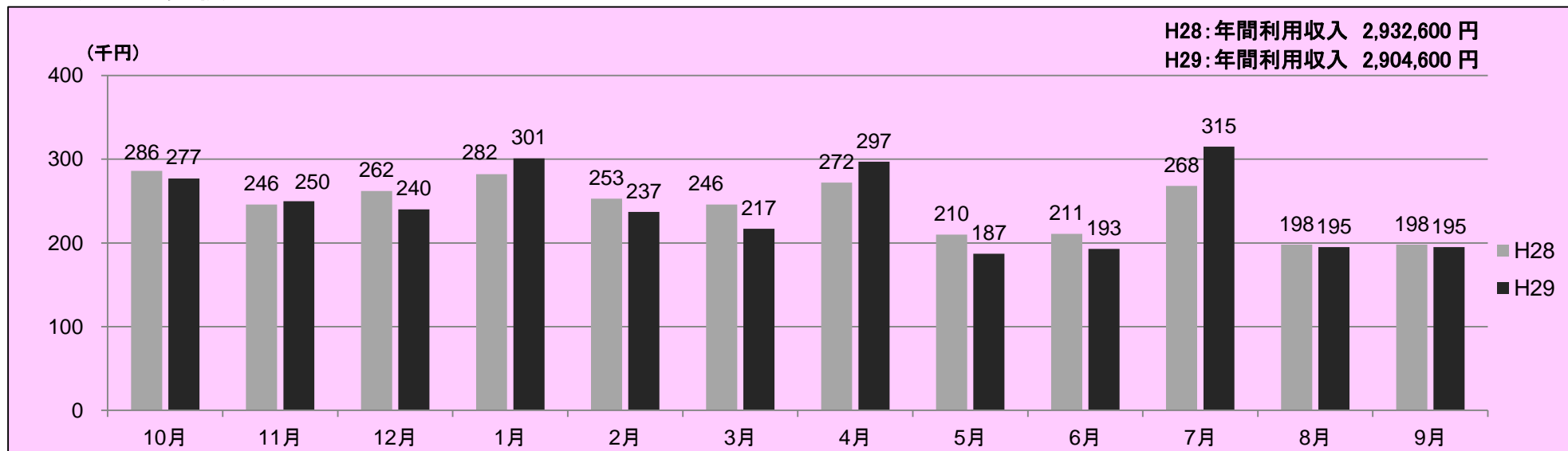
2) 運行系統



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

昨年度に比べ、総輸送人員は増加したが、平日の利用者数が伸び悩み、平日1日当り輸送人員は、目標70人/日に対し、67人/日であった。

車両取得にかかる目標に対しては、車両を3台体制とすることにより、平日1日当り6往復の運行を維持することができた。

7) 事業の今後の改善点

人口減少に伴い、利用者の減少も懸念されるが、高齢化やそれに伴う運転免許証の返納など、今後も地域公共交通の確保維持の重要性は一層高まることから、引き続き利用者ニーズを的確に把握し、利便性向上に向けた取組を実施するとともに、持続可能な運行を目指す。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標値は達成できなかったものの、平成29年度の利用者は増加に転じたことから、今後も丁寧かつ効果的に広報活動を展開するとともに、利便性の向上を図り利用者数の増加につながることを期待する。